

# うたごえ新聞

編集 日本うたごえ  
実行委員会  
発行 音楽センター  
東京都新宿区  
西大久保3の67  
電話 (36) 5220~1  
1ヶ月 30円(〒共)  
3ヶ月 90円、6ヶ月  
180円、1年350円

うたごえは平和の力!!  
東京宣言を支持し  
平和のうたごえを高めよう

## 特集 一九五七日本のごうたごえ祭典

### うたごえをさらに平和の力とする為に

関 鑑 子

### 平和のうたごえをさらに力強く

一九五七年 うたごえ總會決議

一九五八年の新春はスプートニク—平和の星にむかえられて地上を訪れました。宇宙時代とよばれていますが、世界の平和の力は明るく増大しております。と同時に、あわただしい空気の流れも感ぜずにはいられません。

皆さん、新年おめでとございませう。何よりも健康で新しい年を過ぎませう。昨年末の日本のごうたごえ祭典は全国の皆さんの一年間の運動の成果—各地での涙ぐましい日常の努力と祭典実行委員会の日夜の準備、何よりも日本のごうたごえを支持する労働者をはじめとする国民多数の援助のもとに開催されました。皆さん、ほんとうにありがとうございます。

祭典第四日には、遠く北と南に離れたうたごえの友のふれあうよろこび、学びあい、励ましあう感激のうちに、実践の中から「うたごえは平和の力」は更に確認され、運動の前進のために四つの申し合せがなされました。又、平和のうたごえの内容を深めるものとして第三回原水爆禁止世界大会の東京宣言を支持することも約束されました。

日本のうたごえ運動は、「うたごえは平和の力」というただ一つの約束によって各種、各層、各段階のうたごえ運動が結ばれております。従って今日のこの申し合せはうたごえを更に平和の力として役立てるためにあげられたものとして考えられます。今後この実践のために働くことは、なかなか困難の多いことだろうと思われまはすのは、各種、各層、各段階に運動を進められなくてはならないと思っております。一斉にスタートしたものでなく、同じ水準、同じ力を持つものでもない多数の集合体で、音楽を愛し、平和をのぞむことで結ばれ、年々に運動はひろがっていますが、それは、各地域で、職場で、農村で、学校で、いつも変らず真面目に、熱心に活動をつづけている一人一人の努力にかかっているものです。この人々の熱意にもとずいた今度の申し合せは、日本のうたごえ運動組織面を強化するものと信じます。いまでもなく日本のうたごえ運動は専門化しようとする合唱団や専門音楽家をも含む大衆運動であり、大衆の組織であります。全国合唱団協議会に属する合唱団や中心合唱団はもちろん、日本のうたごえ実行委員会は、四つの申し合せを実行に即した生きたものとして実行に移さなければなりません。全国的なこの実行は、創作面にも演奏面にも強い影響を及ぼし、うたごえは更に平和の力として前進することが期待されます。(熱海にて)



国立第一病院にて  
(1957. 12月撮影)



一九五七年日本のごうたごえ祭典の圧巻  
二〇〇〇名の國鉄のごうたごえ

—東西想呼してうたう「不当処分反対の歌」—  
報道写真家集団 近藤彰利氏撮影

全国のうたごえを代表する三万名の仲間たちは、うたごえは平和の力々を合言葉として、一九五七年日本のごうたごえ祭典に参加しました。この祭典の成果のうえに立つて、私たちは各地のさまざまな経験を学びあい、全国的に共通の諸問題を解決するために、この總會に集まりました。

今年の祭典は、東京宣言を支持し、平和のうたごえを高めようのローガンをかかげてひらかれました。この東京宣言は、第三回原水爆禁止世界大会で全世界の平和擁護代表者によって採択されました。

平和の鳩は、全世界にこの宣言をくわえて羽ばたきました。私たちはこの鳩にもまさる力ある行動でこの約束の実現に力をあわせませう。

一、うたごえを、平和の力々としてさらに力強くおすすませましよう。

私たちはうたごえは平和の力々の合言葉のもとに、生活に根ざしたいいきとしたりうたごえ運動がはずかしの成果を生みだしてきたことを確認します。

同時に私たちはこの運動が全世界の人々のねがいと一致していることを確認します。

二、私たちの手ですすめてきた明るいうたごえをばはむものに対して、うたごえを全国民のものにする行動でこたえましよう。

私たちの周囲には、うたごえをばはむさまざまな障害があることを確認します。

それに対して私たちのうたごえは、職場でも地域でもまだまだせまいことを確認します。

三、一人の仲間が一人の仲間とうたごえをひろめる活動をみんなすすませましよう。

私たちは、うたごえサークルの活動をより多くの人々との結びつきをふかめる方向でつよめる必要を確認します。

四、日本のうたごえ実行委員会を強化しましよう。

うたごえ運動を全国的に統一しておすすめるために、あらゆるところにうたごえの組織をつくり、大衆的な交流をさかんにしましよう。

一九五七年十二月十六日

一九五七年日本のごうたごえ祭典

うたごえ總會

(於音楽センター)